

図書委員が勧める

今月の一冊



毎号図書委員が順にお薦めする本を紹介します。今回は3年1〜3組が担当します。

気になる本があれば、図書館で手に取って読んでみませんか？

■島本理生

『七緒のために』

(講談社)



私立の女子高から共学の中学校に転校してきた雪子は、そこで「七緒」と名乗る変わった少女と出会う。彼女がクラスメイトに「羊飼」と遠巻きにされていることに雪子はだんだんと気付いていくが、同時に心に焼きつくように残る七緒の言動に惹かれていく。しかし、限界だった。彼女の口からこぼれる綺麗すぎる少女小説のような嘘に、雪子はついていけない。「なん

で私が嬉しいとか、悲しいとか言ったら、それだけじゃダメなの？ どうせみんな、分かることしか分からない。時間や人がつながるのには本当とか嘘なんてない。だったら、なんの意味があるの？」その口にする七緒に、あなたなら何と答えるだろうか。純粋で、危ういほど鋭く脆い少女時代の一瞬を切り取ったこの物語、興味がわいたらぜひ手にとっていただきたい。(杉)

■湊かなえ

『告白』

(双葉社)



わたしが皆様におすすめする本は湊かなえさんの『告白』です。この本は映画化もされているので知っている人も多いかもしれませんが、この本の魅力は読み進めるにつれ次々と明らかになる衝撃の事実の多さです。

それぞれの人物による「告白」は淡々としているながらも私たちの心に深く突き刺さります。そしていつまでも残ります。この心に残るものはいったい何なのだろう……？ と考えたときに、この本のもう一つの魅力である、彼らの心が重要となってくるのです。彼らは私たち人間だれもが抱えている心の闇を「告白」というかたちで私たちに訴えかけてきます。共感できる部分、またそうでない部分はあるかもしれませんが、日常生活ではあまり触れることのない人の心の闇にこの本を読んで触れてみてください。きっと人生観が変わります。怖い話として読んでもよし、彼らの心を読み解いていってもよし、そんな様々な読み方ができるこの本をぜひ、自分のために読んでみてください。(小)

■池井戸潤

『最終退行』

(小学館)



バブル崩壊後の都市銀行「東京第一銀行」の主人公、副支店長の蓮沼鶏二は頭取の裏金や不正を暴くために正義感に従って懸命に走り続けている姿がとても印象に残りました。一方その

正義感に従った結果、上司にいびられる場面が多くて読むのがつらくなる時はありましたが楽しく読めました。結末は、名前の通り最終退行になったのでこの作者ならではのと思いました。興味がある人は是非読んでみてください。(真)

■東川篤哉

『謎解きはディナーのあとで』

(小学館)



二〇一一年にドラマ化された「謎解きはディナーのあとで」ある町に超お嬢様の刑事、宝生麗子と麗子に従うもののたびたび毒舌が出る執事、影山のごぼこコンビが様々な難事件を解決していくストーリーです。特に見どころは、宝生麗子の的外れな推理をした時の影山の、「お嬢様はアホでらっしゃいますか」や「失礼ながら、お嬢様の目は節穴でらっしゃいますか？」などの毒舌を吐きかける場面に思わずはまっています。この二人の名コンビは今、事件を追う……。(藤)

■米澤穂信

『優しい羊たちの祝宴』

(新潮社)



私の薦める本は米澤穂信さんの『優しい羊たちの祝宴』です。読もうと思つたきっかけは、進研模試で出題されて続きが気になったからです。この本は5つの短編からなるミステリー小説で表紙にも書いてある通りどの話も、最後の一行に重点を置いています。読んでいるうちに不穏な空気が漂う中で、ラスト一行で明かされる衝撃の真実は驚くと同時に、後味の悪さを感じるものも少なくありません。しかし、読み終わった時には、全ての謎が明かされとてもスッキリした気分になります。皆さんも是非読んでみてください。(坂)

■杉山知之

『クリエイター・スピリットとは何か？』(筑摩書房)



僕がおすすめする本は、「クリエイター・スピリットとは何か？」という本です。これは何も創作活動専門の人のための本ではありません。誰もが社会で生かせる能力です。僕は文芸部で小説の創作を中心に活動していますが、この本を読んだことでより独創性が増しました。皆さんに一つこの本を読んだからこそできるアドバイスをしたいと思っています。「みんながそうしてるから」これを今すぐやめてください。自分だけの確固とした考えを持つてください。まずはそこからです。話はそれてしまいましたが、要するにこの本は「自分だけの現実さパーソナル・リアリティ」を形成するのにうってつけな本ということだと思います。これからの社会は独自性が重要性を増すことでしょう。願わくば多くの方々が「クリエイター・スピリットとは何か？」を読んで独創性豊かな人格形成に臨んでもらえたらと思います。(館)



本をあまり読まないという人でも「太宰治」の名を知らない人はいないだろう。しかし彼の作品となると、あまり馴染みのない人も多いのではないだろうか。まず誰もが知っているのは「走れメロス」である。「人間失格」もまた有名だ。読書好きならその後「斜陽」「富嶽百景」などが挙げられるだろう。

太宰の作品は暗く難解だと思われがちであるが、読んでれば案外そんなことはないとい分かれる。文体も決して難しくはないし、皮肉な口調のものもあれば、はつとするほど心に真つ直ぐ届く言葉もあって面白い。短編のテンポの良さ、深い心情描写とくすりとさせられるユーモア。それこそが彼の作品の良さなのではないだろうか。

面白い話が読みたいという人には、ぜひ太宰治著の「お伽草紙」「十二月八日」「黄村先生言行録」などをお勧めしたい。どれも流れるような文構造が魅力的だし、特に「黄村先生言行録」などはとてもユーモラスだ。また、「太宰なんて私のガラクチャない」という女子高生にも「晩年」に収録されている「女生徒」などぜひ読んでみてもらいたいと思う。ぐるぐるとたくさん読めば、思考を交錯させながらも軽やかに生活する彼女は、現代の女子高生そのものである。学生特有



の嫌悪や悩みの中から彼女の真つ直ぐな明るさが見えるこの作品に憂鬱感はなく、むしろさつぱりとしていて読みやすい。作品の世界を身近に感じることができれば、読書の幅は広がるだろう。確かに

味わった不確かな感情が作家の言葉によって定義づけられていくのは楽しい作業である。文豪なんてと尻込めせず、色々な作品に色んな作家を見つ

平成25年度 図書館貸出ベスト20冊

昨年1年間の貸出数ベスト20冊をまとめました。同順位の本が多いのですが、1冊あたりの貸出数が10冊未満のものが多いため、どうしても軽い読み物やドラマ・映画の原作などが中心になっていますが、中には「源氏物語」や「看護の力」などは、学習や進路を目的として図書を選んだ人もいます。もっと広い分野の本にも関心を示してほしいものです。

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1 咖啡店タレーランの事件簿
岡崎琢磨 著 | 〃 今日、恋をはじめます
高瀬ゆのか 著 水波風南 原作 |
| 2 色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年
村上春樹 著 | 〃 私の嫌いな探偵 東川篤哉 著 |
| 3 万能鑑定士Qの事件簿 松岡圭祐 著 | 20 オレたちバブル入行組 池井戸潤 著 |
| 〃 学ばない探偵たちの学園 東川篤哉 著 | 〃 ×ゲーム 山田悠介 著 |
| 〃 ビブリア古書堂の事件手帖 三上延 著 | 〃 レインツリーの国 有川浩 著 |
| 〃 咖啡店タレーランの事件簿
また会えたなら、あなたの淹れた珈琲を
岡崎琢磨 著 | 〃 ねらわれた学園 眉村卓 著 |
| 7 ビブリア古書堂の事件手帖 三上延 著 | 〃 特等添乗員αの難事件 松岡圭祐 著 |
| 〃 Gosick 桜庭一樹 著 | 〃 愚者のエンドロール 米澤穂信 著 |
| 〃 ライオンの棲む街
平塚おんな探偵の事件簿1
東川篤哉 著 | 〃 キリン 山田悠介 著 |
| 〃 夢幻花 東野圭吾 著 | 〃 源氏物語評釈 第1巻 玉上琢弥 著 |
| 〃 万能鑑定士Qの事件簿1 松岡圭祐 著 | 〃 きみはボラリス 三浦しをん 著 |
| 〃 海賊とよばれた男(上) 百田尚樹 著 | 〃 海賊とよばれた男 下 百田尚樹 著 |
| 〃 RDGレッドデータガール
星降る夜に願うこと 荻原規子 著 | 〃 刀語 第9話 西尾維新 著 |
| 14 神様のカルテ3 夏川草介 著 | 〃 刀語 第11話 西尾維新 著 |
| 〃 ハリー・ポッターと謎のプリンス 上 | 〃 Aコース 山田悠介 著 |
| 〃 ハリー・ポッターと謎のプリンス 下 | 〃 少女 湊かなえ 著 |
| J. K. ローリング 作 松岡佑子 訳 | 〃 舟を編む 三浦しをん 著 |
| 〃 図書館戦争 有川浩 著 | 〃 祈りの幕が下りる時 東野圭吾 著 |
| | 〃 プラチナデータ 東野圭吾 著 |
| | 〃 メモリーを消すまで(上) 山田悠介 著 |
| | 〃 メモリーを消すまで(下) 山田悠介 著 |
| | 〃 看護の力 川嶋みどり 著 |
| | 〃 ビブリア古書堂の事件手帖 三上延 著 |
| | 以上 |

の嫌悪や悩みの中から彼女の真つ直ぐな明るさが見えるこの作品に憂鬱感はなく、むしろさつぱりとしていて読みやすい。作品の世界を身近に感じることができれば、読書の幅は広がるだろう。確かに



味わった不確かな感情が作家の言葉によって定義づけられていくのは楽しい作業である。文豪なんてと尻込めせず、色々な作品に色んな作家を見つ

けることができるはずだ。そしてその作品の中に筆者が欠片としてちりばめた意図に気づくことができれば、見える世界がぐつと鮮やかに広がることは言わずもがなである。



新刊紹介

今年度最初の新着図書の紹介です。現在も購入図書調べを継続していますので希望のある生徒はカウンターまで。

- | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|
| マヤコフスキー事件
小笠原豊樹 著 | 藤原道綱母 原作 川村裕子 編 | 曾野綾子 著 |
| 気ままに漢詩キブン ちくまプリマー新書
足立幸代 著 | 更級日記 角川文庫 | 方丈記 角川文庫 |
| のさり 水俣漁師、杉本家の記録
藤崎童土 著 | ビギナーズ・クラシックス 日本の古典
菅原孝標の女 作 川村裕子 訳 | ビギナーズ・クラシックス 日本の古典
鴨長明 著 武田友宏 訳注 |
| 紫式部日記 角川文庫 | 土佐日記 角川文庫 | ベテロの葬列
宮部みゆき 著 |
| ビギナーズ・クラシックス 日本の古典
紫式部〔著〕山本淳子 訳注 | ビギナーズ・クラシックス 日本の古典
紀貫之 著 西山秀人 編 | ハビネス
ささみみささめ |
| 蜻蛉日記 II 現代語訳 角川ソフィア文庫 | 和泉式部日記 角川文庫 | わたしをみつめて
中脇初枝 著 |
| 藤原道綱母 著 川村裕子 訳 | ビギナーズ・クラシックス 日本の古典
和泉式部 著 川村裕子 編 | 言葉と歩く日記 岩波新書
多和田葉子 著 |
| 御堂関白記 藤原道長の日記 角川文庫 | 言葉と歩く日記 岩波新書
多和田葉子 著 | 香夜
高樹のぶ子 著 |
| ビギナーズ・クラシックス 日本の古典
藤原道長 著 繁田信一 編 | 野心のすすめ
林真理子 著 | ゼツメツ少年
重松清 著 |
| 蜻蛉日記 現代語訳 角川文庫 | 人間にとって成熟とは何か 幻冬舎新書 | |

ホテルローヤル 桜木紫乃 著 真夜中のパン屋さん 午前0時のレシピ ポプラ文庫 大沼紀子 著 真夜中のパン屋さん 午前1時の恋泥棒 ポプラ文庫 大沼紀子 著 真夜中のパン屋さん 午前3時の眠り姫 ポプラ文庫 大沼紀子 著 エール ノボさん 伊集院静 著 少女は卒業しない 朝井リョウ 著 世界地図の下書き 朝井リョウ 著 花や咲く咲く あさのあつこ 著 太平記 角川文庫 ビギナーズ・クラシックス日本の古典 武田友宏 編 大鏡 角川文庫 ビギナーズ・クラシックス 日本の古典 武田友宏 編 とりかえばや物語 角川文庫 ビギナーズ・クラシックス 日本の古典 鈴木裕子 編 堤中納言物語 角川文庫 ビギナーズ・クラシックス 日本の古典 坂口由美子 編 落窪物語 上 落窪物語 下 現代語訳 角川文庫 室城秀之 訳注 うつぼ物語 室城秀之 編 伊勢物語 角川文庫 ビギナーズ・クラシックス 日本の古典 坂口由美子 著 古事記 現代語訳付き 新版 角川文庫 中村啓信 訳注 近松門左衛門『曾根崎心中』『けいせい反魂香』 『国性爺合戦』ほか 角川文庫 ビギナーズ・クラシックス日本の古典 近松門左衛門 著 井上勝志 編 梁塵秘抄 角川文庫 ビギナーズ・クラシックス 日本の古典 後白河院 著 植木朝子 編 万葉集 現代語訳付き 4 新版 角川文庫 伊藤博 訳注 万葉集 現代語訳付き 3 新版 角川文庫 伊藤博 訳注 万葉集 現代語訳付き 2 新版 角川文庫 伊藤博 訳注 万葉集 現代語訳付き 1 新版 角川文庫 伊藤博 訳注 百人一首 角川文庫 ビギナーズ・クラシックス 日本の古典 谷知子 編 新古今和歌集 角川文庫 ビギナーズ・クラシックス 日本の古典 小林大輔 著	古今和歌集 角川文庫 ビギナーズ・クラシックス 日本の古典 中島輝賢訳注 書き出しは誘惑する 岩波ジュニア新書 中村邦生 著 英詩のこころ 岩波ジュニア新書 福田昇八 著 雑談力が上がる話し方 齋藤孝 著 灰とダイヤモンド 平山 譲 著 ダメなときほど運はたまる だれでも「運のいい人」になれる50ヒント 萩本欽一 著 非核芸術案内 岩波ブックレット 岡村幸宜 著 日本美術全集 7 鎌倉・南北朝時代 I 運慶・快慶と中世寺院 日本美術全集 5 平安時代 2 王朝絵巻と貴族のいとなみ 辻惟雄 編 泉武夫 編 山下裕二 編 板倉聖哲 編 泉武夫 責任編集 西洋美術史入門 <実践編>ちくまプリマー新書 池上英洋 著 天空の湖と近代遺産 風景地奥日光とその周辺の人々 飯野達央 著 まもれなかった奇跡の山 高尾山から公共事業を問う 岩波ブックレット 高尾山の自然をまもる市民の会 編 あなたの住まいの見つけ方 三浦展 著 海をよみがえらせる 諫早湾の再生から考える 岩波ブックレット 佐藤正典／著 人を幸せにする目からウロコ！研究 岩波ジュニア新書 萩原一郎 著 知っておきたい栄養学 クマムシ博士の「最強生物」学講座 堀川大樹 著 地球外生命 われわれは孤独か 岩波新書 長沼毅 井田茂 著 危険・有毒生物 世界の火山図鑑 須藤茂 著 よくわかる山の天気 平井史生 単位と記号 白鳥 敬 統計学が最強の学問である データ社会を生き抜くための武器と教養 西内啓 著 現代科学の歩きかた 池内了 著	中学受験 岩波新書 横田増生 著 子どもの貧困 II 解決策を考える 岩波新書 阿部彩 著 伝え方が9割 佐々木圭一 著 路地の教室 ちくまプリマー新書 上原善広 著 トヨタの片づけ OJTソリューションズ 著 植民地朝鮮と日本 岩波新書 趙景達 著 <日本国>から来た日本人 西牟田靖 著 性と法律 岩波新書 角田由紀子／著 比較のなかの改憲論 日本国憲法の位置 岩波新書 辻村みよ子／著 ベアテ・シロタと日本国憲法 岩波ブックレット ナスリーン・アジミ ミッシェル・ワッセルマン／著 小泉直子／訳 日曜日の自治体学 新藤宗幸 著 ヘイト・スピーチとは何か 岩波新書 師岡康子 著 地図で訪ねる歴史の舞台 日本 世界を変えた10人の女性 池上彰 著 イギリス史10講 岩波新書 近藤和彦 著 あなたの知らない栃木県の歴史 山本博文監修 権記 上 講談社学術文庫 藤原行成 著 倉本一宏 全現代語訳 権記 中 講談社学術文庫 藤原行成 著 倉本一宏 全現代語訳 権記 下 講談社学術文庫 藤原行成 著 倉本一宏 全現代語訳 ヨーロッパがわかる 岩波ジュニア新書 明石和康 著 うまくいっている人の考え方 ジェリー・ミンチントン 著 弓場隆 訳 心は前をむいている 岩波ジュニア新書 串崎真志 著 もっと面白い本 岩波新書 成毛眞 著 読書感想文作品集 2013 栃木県学校図書館協議会／編 高校図書館 成田康子 著 走れ！移動図書館 本でよりそう復興支援 ちくまプリマー新書 鎌倉幸子 著 以上
---	---	---

後記
編集
 今年度最初の「図書館報」第1号を発行することができました。これから図書委員会の活動として定期的に発行していきます。新学期が始まって中間試験がすむと少し気持ちに落ち着きが出てくるころでしょう。読書は自分と向き合う大切な時間です。ひとの書いた読むことで共感力や想像力など知性だけでなく完成も磨けます。みなさんも図書館で自分だけの本を見つけてください。
 第1号編集担当
 小山内ひなた 館野 優樹 (3の1)
 坂村 透 藤野 達也 (3の2)
 杉山 晶穂 眞榮城 浩 (3の3)

「自由とは、それが最も忌避するもの、つまりなんらかの強制や拘束が同時にないと、実感も想像もできないものだ」と鷗田清一氏は言う。これは近著『へびの現象学』(筑摩書房)の一節。昨年小山高校で特別授業をされた内容にも関わる「顔く存在の先触れ」を含むその連載をまとめたものだ。
 「思いどおりに」「好きなように」「は自由の見かけをもっているが、じつは自由の反対」「欲望への隷属である」というのだ。よくいわれるような「他人にとつても同量の自由」を保証するためには、他者を侵害しないように行為を制限するというようなことではない。人間の「内なる外」として表象される欲望に縛られずに、人間の真に「内」なるものとして、「外からの強制」によらず、理性としての主体が自己のあり方を決定する「自己決定」だ。
 みずから「かくなすべき」という意識をもって自己を統御しながら行為をなすときに人間は自由である。